

第130回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成24年7月6日(金) 13:30～16:30

場所：JR 東海 品川ビル A 棟

出席者：委員長 北野（JR 東海）

副委員長 水野（信州大）

委員 上田（東芝）、海老原（IEEJ）、坂本（鉄道総研、大橋委員代理）、白石（安川電機）
中村（日本大）、長谷川（鉄道総研）、樋口（長崎大）、

前田（シンフォニアテクノロジー）、森下（工学院大）、矢野（産総研）、渡邊（IEEJ）

幹事 鳥居（東京都市大）、村井（JR 東海）

幹事補佐 矢島（SMC）（記）

提出資料

- 130-1 第129回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
- 130-2 リニアドライブ技術委員会 名簿（矢島幹事補佐）
- 130-3 平成24年度 第1回D部門研究調査運営委員会 議事録（案）（北野委員長）
- 130-4 会合等における飲食費の支出に関するガイドライン（北野委員長）
- 130-5 リニアドライブ技術関連カレンダー（矢島幹事補佐）
- 130-6 LD技術委員会 共有カレンダー・名簿（矢島幹事補佐）
- 130-7 リニアドライブ 交通・電気鉄道 合同研究会（北野委員長）
- 130-8 回転機 リニアドライブ 家電・民生 合同研究会（北野委員長）
- 130-9 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会 活動方針及び報告書（矢野委員）
- 130-10 委員会構成員変更届（北野委員長）
- 130-11 委員会構成員変更届（北野委員長）
- 130-12 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会（MEL）活動報告（矢島幹事補佐）
- 130-13 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会（MDD）活動報告（上田委員）
- 130-14 第1回 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会 議事録（上田委員）
- 130-15 産業応用フォーラム「新世代アクチュエータの多自由度化可能性」（上田委員）
- 130-16 第1回 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 議事録（矢島幹事補佐）
- 130-17 第2回 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 議事録（案）（矢島幹事補佐）
- 130-18 第4回 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会 議事録（坂本代理）

議事

1. 議事録確認

資料130-1を基に、矢島幹事補佐から第129回委員会の議事録が確認され、下記を修正の上、承認された。

- ・誤字（第127回→第128回、3.6→3.7）

2. 報告事項

2.1 資料130-11を基に、北野委員長から委員の交代について報告があった（1号委員が16名となるが、電気学会事務局了承済み）。

- ・交代：鹿山委員→白石委員、大穀委員→吉桑委員、
- ・退任：中川委員、伊藤委員
- ・追加：森下委員、矢野委員、渡邊委員

委員会の成立条件が2/3以上の出席であるため、欠席の際は事前に北野委員長まで連絡していただき、委任するよう依頼があった。

2.2 資料130-2、資料130-5、資料130-6を基に、北野委員長からLD技委の共有カレンダーおよび委員について報告があった。下記のアドレスから各自アクセス可能。取り扱いに注意のこと。

2.3 資料130-3を基に、北野委員長から6月7日に開催された平成24年第1回D部門研究調査運営委員会の審議事項について報告があった。特記事項を下記に示す。

- ・会員比率50%以上が厳格化してきている。
- ・TER技委では若手セミナーを開催し交通費を支給した。LD技委でも企画があれば同様に行える。

・IIC 技委から分離してメカトロニクス技術委員会を新設する。

・125周年記念出版を執筆中。LD 技委は脇若委員，渡邊委員，荏田氏に執筆を担当。

- 2.4 資料 130-4 を基に，北野委員長から，会合等における飲食費の支出に関するガイドラインについて説明があった。懇親会などを行う際は，事前にプログラムなどで案内を出すこと。
- 2.5 資料 130-7 を基に，北野委員長から，7月に開催されるリニアドライブ 交通・電気鉄道 合同研究会について案内があった。
- 2.6 資料 130-8 を基に，北野委員長から，8月に開催される回転機 リニアドライブ 家電・民生 合同研究会について案内があった。
- 2.7 渡邊委員から，8月21日に開催される電気学会産業応用部門大会のシンポジウム「産業用リニアドライブ技術と応用の変遷」について案内があった。初日の朝9時から始まるため集まり辛いですが，ぜひ積極的に参加して欲しい旨，依頼があった。
- 2.8 資料 130-9 を基に，矢野委員から MDD 委の活動方針及び報告書が説明された。本報告書は電気学会事務局に提出済み。
- 2.9 資料 130-10 を基に，北野委員長から MLV 委の委員追加が説明された。北野委員長の承認済み。

3. 審議事項

- 3.1 資料 130-5 を基に，北野委員長から，LD 研究会・見学会の予定が確認された。
 - ・10/5 に予定していた LD 研究会を 2013 年 1 月に変更
 - ・10/5 に産総研（つくば）で見学会および LD 技委を行う
 - ・2/21-22 電気学会本部で LD 研究会（MEL 担当）を行う
- 3.2 資料 130-15 基に，上田委員から，10月に開催される産業応用フォーラム「新世代アクチュエータの多自由度化可能性」の説明があり，承認された。
- 3.3 多自由度アクチュエータなど日本発の技術が国際会議ではあまり認知（引用）されていないことが議題にあがった。原因として，英文の論文や査読論文になっていないことが多く，引用できるところに載っておらず無かったことになってしまうためという意見があった。LDIA2017（日本）では査読論文にすることが承認された。

4. 各調査専門委員会活動報告

資料 130-12～資料 130-14，資料 130-16～資料 130-18 を用いて，各調査専門委員会から活動報告があった。

5. その他

北野委員長から上田委員に，産業応用部門優秀論文発表賞の表彰状が贈られた。他の受賞者には8月の LD 研究会（大阪）で授賞式を行う予定。

以上